

自己評価結果公表シート（令和2年度）

学校法人育保学園 くまのだ保育園

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・感染症対策の強化
- ・保育・行事の見直し
- ・生物、植物への探究

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○感染症対策の強化 ・消毒・衛生管理 ・保護者の密集・密接の回避 ・保育・行事の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室の換気は可能な限り常時行うと共に、消毒チェック表を活用しながら、子どもが使う玩具や園内の消毒を行い感染症予防に努めた。 ・保育の中で手洗い指導を行い、その都度職員と一緒に手洗いをすることで一人ひとりが丁寧な手洗いを意識する事ができた。 ・登降園時の混雑状況の表を掲示する事で、混雑を避けられるように工夫したが、一定の時間は混雑がみられた為、できる限りスムーズな降園ができるように心掛けた。 ・保護者の方の園内への立ち入り制限を行い、懇談等も可能な方はオンラインで行った。しかし、実際に日々の様子を見る機会やじっくりと会話をする機会が少なくなった為、日々様子を伝える事ができるよう工夫が必要である。 ・今の子どもに必要な経験や育ちを踏まえ、感染リスクを抑えながら、運動会や発表会はプログラムの縮小やクラス毎の入れ替え制にする等して行った。 ・大人同士の密接を回避する為、参観やお遊び会等は中止とした。 ・緊急事態宣言中の歌唱活動を控えたり、保育の内容もできる限り子ども達が密にならないように机の対面回避や並ぶ立ち位置等環境の工夫を行ったりした。
○生物、植物への探究 ・生き物に触れ合える環境 ・自然、植物への興味	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスでイモリやカブトムシ、金魚等の生き物を飼う事で子ども達の心の安定や興味、探究心へと繋がった。 ・生き物を飼う中で命の大切さに気付き、思いやりの気持ちを持つ姿や、飼育する環境を凶鑑で調べたり、餌をあげたりする等、生き物を育てる楽しさを味わう姿が見られた。 ・園内のプランターや畑で花や野菜を育てて収穫する等、自然に興味を向けられる環境作りに取り組んだ。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・保育環境の充実 ・保育者の資質向上 ・感染症対策と家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的話し合いの機会を設け、日々子ども達の遊びの様子に応じて、環境の改善ができるようにする。 ・各クラス子ども達の姿を園全体で伝え合う機会を設ける事で子どもに対する理解を深め、共通意識を持って関わられるようにする。 ・予め各団体の年間の研修計画等を回覧し、年間の予定を立てる事で計画的に外部の研修を受講できるよう工夫する。 ・様々な分野の研修に目を向け、積極的に参加できるようにする。 ・感染状況に応じて、話し合いの機会を持つ事で保育者の意識の統一を行い、感染の予防に努める。 ・日々の写真や動画、電話での連絡等を通して、保護者の方に園の様子を感じて頂けるように工夫する。